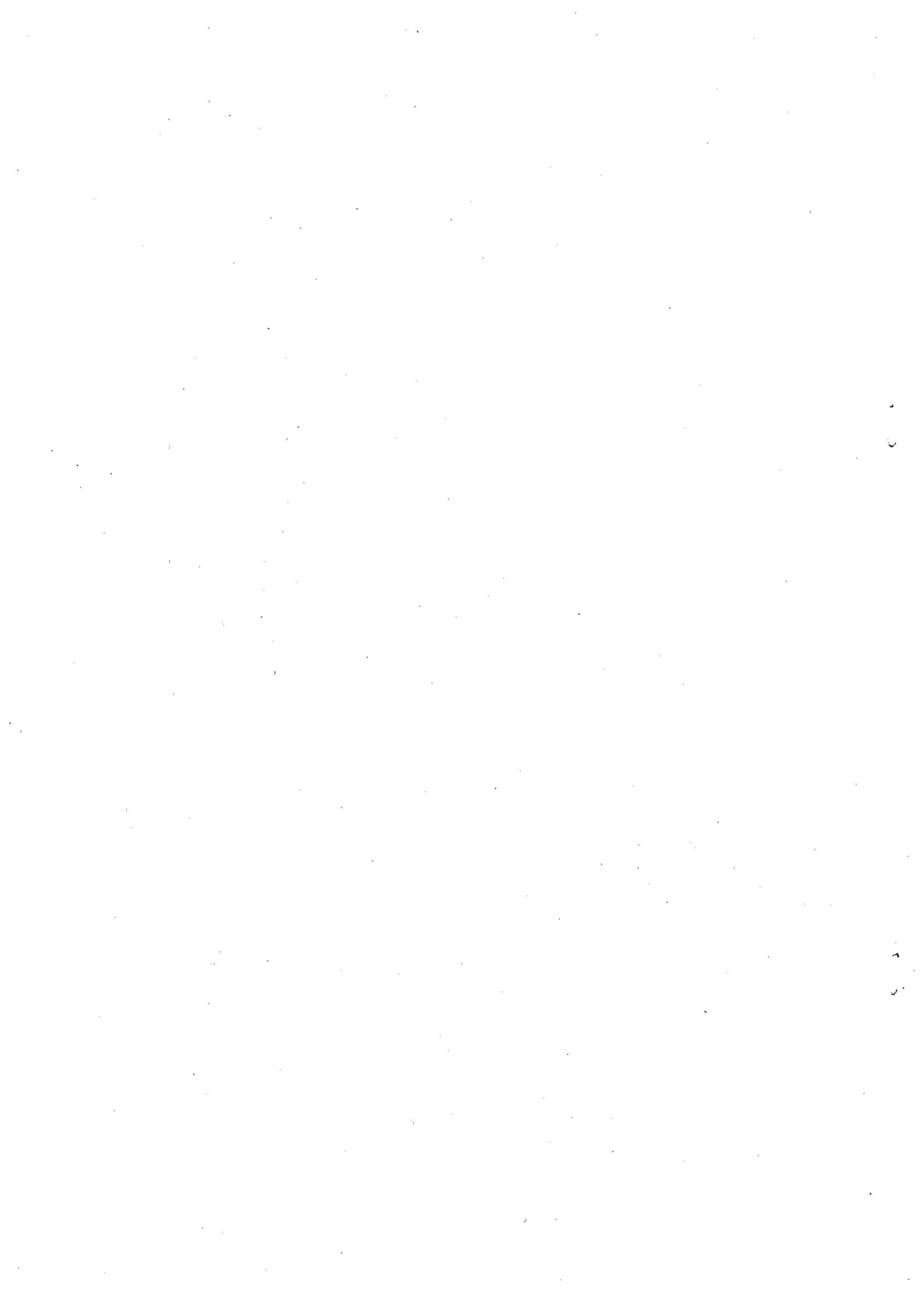


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年8月21日)

- 1 第4回鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会について
【地域振興課】・・・1ページ
- 2 平成27年度普通交付税（市町村分）の交付額について
【地域振興課】・・・3ページ
- 3 ANA便の冬ダイヤ等について
【交通政策課】・・・6ページ
- 4 ジャマイカ陸上チームの世界陸上北京大会鳥取キャンプの結果について
【スポーツ課】・・・7ページ

地 域 振 興 部



第4回鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会について

平成27年8月21日
地域振興課

8月4日に第4回協議会を開催しましたので、その概要を報告します。

1 議事及び説明概要

(1) 県からの市への移譲事務の概要《説明：県、市》

- ・7月末現在で、県から市へ移譲するのは2,211事務（法改正等により今後変更の可能性あり）であり、今後はこれをベースに職員・組織体制、財政影響等の検討を行う。

区分	検討項目数	県から市へ移譲する 事務項目数	県で引き続き 実施する事務項目数
法定移譲事務	1,411	1,411	0
県単独事務	261	231	30
関連事務	973	569	404
合計	2,645	①+② 2,211	③ 434

- ・県から市への移譲事務や県から市へ委託する4町に係る事務などを含め、平成25年度の県の決算額を基に事業費を試算した。

【参考】歳出影響

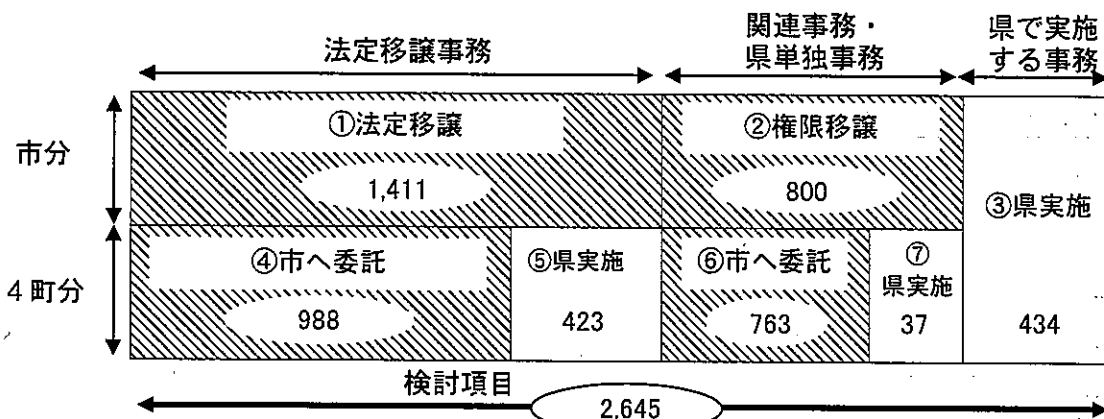
事業費	人件費	施設・資機材等の整備・運営経費
約9.3億	約4.8億	約1.8億

(2) 鳥取県東部の保健所のあり方検討会の検討状況《説明：県》

- ・4町に係る県の保健所業務の体制のあり方や課題等について検討を行い、現行のサービスの維持とそれを担保する仕組みを構築することを前提として、4町に係る県の保健所関連業務を市へ委託する方向で調整を進めることについて、4町の了解が得られたことを報告した。
⇒業務水準を担保する仕組みとして連携協約を活用することを含め、今後、県と市において委託の具体的内容について協議、調整を行うこととした。
- ・県から市へ移譲する予定の事務（以下のイメージ図の①と②）であって、4町区域（住民）を対象として県が実施している以下のものを事務委託の対象とする（イメージ図の④と⑥）。

ア 県東部福祉保健事務所及び東部生活環境事務所で開催している保健所事務及び関連事務
イ 県本庁で実施している事務で、東部圏域全体での実施が望ましい事務
ウ 住民サービス（窓口の一元化）の視点で、市（保健所）での一元実施が望ましい事務

【参考】事務の移譲・委託のイメージ



(3) 鳥取市保健所設置の検討状況《説明：市》

- ・鳥取市の保健所設置に係る有識者委員会や検討委員会の開催状況等について説明があった。

(4) 広報計画《説明：県、市》

- ・県、市、4町とが連携し、広報時期や内容、媒体等を調整しながら適時適切な情報提供を実施していくことを確認した。

(5) 鳥取市の保健所の設置に伴う災害医療体制《説明：県》

- ・現在は、東部福祉保健事務所が担っている医療救護対策支部について、中核市移行後は鳥取市の保健所に担っていただくのが望ましいと考えられるが、市の災害対策本部との調整も必要であり、引き続き県と市で協議していくことを確認した。

2 主な質疑、意見等

- (市) 連携協約の締結については、議会への説明も必要であり、今後内容を詰めていく必要がある。見える形で県と市が連携していることを打ち出す重要性については理解しているので、具体的な内容が詰めることができた段階で、協約締結に向かっていきたい。
- (県) 人材の確保が課題であり、これから具体的な話をさせてもらいたい。
- (県) 頻度の高い事務などは優先的に研修を進めるべき。中部と西部の保健所の職員とも早めに連携を取っていただくことも重要である。
- (市) 災害医療に関しては、人材確保が重要。資格があれば誰でもできるものではなく、スキルや経験のある人でないと的確な対処ができない。人材確保や関係機関との調整について、県に指導いただきたい。
- (町) 災害時や感染症発生時の対応について、県・市でしっかり詰めていただきたい。今まで県が責任を持って一本でやっていた部分を担保できるような仕組みをとってほしい。
- (県) 市に委託しなくても町で一体的にやった方がいいという事務は、住民サービス向上の観点で、県から町に移譲することも検討していきたい。

3 今後の予定

移譲事務に係るマニュアル作成・引継準備、住民の方々への広報を実施していくとともに、必要な人材の育成・確保、保健所関連業務のサービス水準を担保する仕組み、災害医療等の懸案事項について、県・市・4町で協議、検討を進めていく。

平成27年度普通交付税（市町村分）の交付額について

平成27年8月21日
地域振興課

平成27年度普通交付税（市町村分）が、去る7月24日に閣議報告され、次のとおり交付額が決定されましたので、報告します。

記

1 概要

○普通交付税の算定において、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税は948億円となり、前年度（当初算定）対比で12億円の減となった。全国との対比では、全国の決定総額が3.0%減少したのに対し、本県は1.3%の減となった。

○団体別では、前年度対比で10団体が増加、9団体が減少した。

<近年の対前年度増減率>

区 分	普通交付税決定額		普通交付税+臨時財政対策債発行可能額	
	本県市町村分	全国市町村分	本県市町村分	全国市町村分
24年度	0.5%	0.3%	0.5%	0.2%
25年度	0.2%	△1.3%	0.5%	△0.7%
26年度	△1.6%	△2.6%	△2.0%	△3.7%
27年度	△0.6%	△0.5%	△1.3%	△3.0%

【県内市町村の主な増減要因】

○主な増加要因としては、全国的な傾向と同様に、人口減少等特別対策事業費（地方創生の取組の必要度及び成果を反映、本年度は必要度5：成果1で配分）の新設による増、臨時財政対策債の元利償還金の増等があげられる。

○主な減少要因については、全国的な傾向と同様に、過去の減税補てん債の算入終了による需要額の減、地方消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の収入額の増等があげられる。

2 本県の決定額

（単位：千円、%）

区 分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額			
	27年度 A	26年度 (当初) B	増減額 C (=A-B)	増減率 D (=C/B)	27年度 E	26年度 (当初) F	増減額 G (=E-F)	増減率 H (=G/F)
市 分	40,983,986	41,967,750	△983,764	△2.3%	48,503,056	50,003,918	△1,500,862	△3.0%
町村分	42,957,872	42,508,665	449,207	1.1%	46,343,799	46,092,182	251,617	0.5%
計	83,941,858	84,476,415	△534,557	△0.6%	94,846,855	96,096,100	△1,249,245	△1.3%
県 分	135,894,994	135,399,848	495,146	0.4%	156,593,371	158,994,920	△2,401,549	△1.5%

※ 臨時財政対策債：地方一般財源の不足に対処するための特例地方債（後年度の普通交付税で全額措置）

3 増減の大きい団体

※ただし、臨時財政対策債発行可能額を加えたもので前年度（当初算定）と比較

- ・江府町（5.8%増）新費目の人口減少等特別対策事業費の配分が人口規模に対して多かった等
- ・若桜町（4.4%増）新費目の人口減少等特別対策事業費の配分が人口規模に対して多かった等
- ・米子市（6.8%減）H10年度以前許可分補正予算債の償還額の減による基準財政需要額の減等
- ・境港市（4.5%減）H2年度以前に供用開始した高資本費下水道に係る事業債の算入率の減による基準財政需要額の減等
- ・日吉津村（4.4%減）製紙会社の法人税割の増による基準財政収入額の増等

4 普通交付税の交付時期

毎年4、6、9、11月に交付（4、6月分は前年度交付額に基づき概算交付済みである。）

【市町村別普通交付税額】

(単位:千円、%)

区分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額				(参考)	
	27年度	26年度	増減額	増減率	27年度	26年度	増減額	増減率	27年度 臨時財政 対策債発 行可能額	27年度 人口減少等 特別対策 事業費分
	A	B (当初算定)	C(=A-B)	D(=C/B)	E	F (当初算定)	G(=E-F)	H(=G/F)		
鳥取市	22,450,245	23,017,737	△ 567,492	△ 2.5%	26,242,519	26,913,435	△ 670,916	△ 2.5%	3,792,274	536,394
米子市	8,508,215	8,962,375	△ 454,160	△ 5.1%	10,822,692	11,613,555	△ 790,863	△ 6.8%	2,314,477	362,967
倉吉市	7,018,764	6,869,258	149,506	2.2%	7,924,400	7,799,330	125,070	1.6%	905,636	213,833
境港市	3,006,762	3,118,380	△ 111,618	△ 3.6%	3,513,445	3,677,598	△ 164,153	△ 4.5%	506,683	150,090
岩美町	2,600,182	2,527,526	72,656	2.9%	2,819,045	2,758,122	60,923	2.2%	218,863	146,016
若桜町	1,753,885	1,675,518	78,367	4.7%	1,857,958	1,779,349	78,609	4.4%	104,073	135,711
智頭町	2,548,342	2,568,921	△ 20,579	△ 0.8%	2,728,604	2,759,427	△ 30,823	△ 1.1%	180,262	124,148
八頭町	5,078,278	5,104,388	△ 26,110	△ 0.5%	5,433,496	5,479,176	△ 45,680	△ 0.8%	355,218	152,996
三朝町	2,011,343	1,945,697	65,646	3.4%	2,166,372	2,107,910	58,462	2.8%	155,029	110,670
湯梨浜町	4,283,088	4,340,096	△ 57,008	△ 1.3%	4,604,074	4,684,482	△ 80,408	△ 1.7%	320,986	112,904
琴浦町	3,931,585	3,884,953	46,632	1.2%	4,290,195	4,266,231	23,964	0.6%	358,610	141,889
北栄町	3,468,463	3,404,685	63,778	1.9%	3,759,526	3,714,194	45,332	1.2%	291,063	129,050
日吉津村	265,489	251,238	14,251	5.7%	388,215	406,022	△ 17,807	△ 4.4%	122,726	48,691
大山町	5,115,922	5,132,992	△ 17,070	△ 0.3%	5,486,653	5,531,066	△ 44,413	△ 0.8%	370,731	148,910
南部町	2,998,537	3,007,153	△ 8,616	△ 0.3%	3,224,784	3,245,530	△ 20,746	△ 0.6%	226,247	120,176
伯耆町	3,178,917	3,122,823	56,094	1.8%	3,461,321	3,414,277	47,044	1.4%	282,404	116,834
日南町	2,852,933	2,794,774	58,159	2.1%	3,022,223	2,967,965	54,258	1.8%	169,290	131,247
日野町	1,660,305	1,609,939	50,366	3.1%	1,769,595	1,720,151	49,444	2.9%	109,290	119,371
江府町	1,210,603	1,137,962	72,641	6.4%	1,331,738	1,258,280	73,458	5.8%	121,135	101,833
都市計	40,983,986	41,967,750	△ 983,764	△ 2.3%	48,503,056	50,003,918	△ 1,500,862	△ 3.0%	7,519,070	1,263,284
町村計	42,957,872	42,508,665	449,207	1.1%	46,343,799	46,092,182	251,617	0.5%	3,385,927	1,840,446
県計	83,941,858	84,476,415	△ 534,557	△ 0.6%	94,846,855	96,096,100	△ 1,249,245	△ 1.3%	10,904,997	3,103,730

県分	135,894,994	135,399,848	495,146	0.4%	156,593,371	158,994,920	△ 2,401,549	△ 1.5%	20,698,377	3,479,552
----	-------------	-------------	---------	------	-------------	-------------	-------------	--------	------------	-----------

【参考】全国の決定額

(単位:億円、%)

区分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額				(参考)	
	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	27年度 臨時財政 対策債発 行可能額	27年度 人口減少等 特別対策 事業費分
	A	B (当初算定)	C(=A-B)	D(=C/B)	E	F (当初算定)	G(=E-F)	H(=G/F)		
市町村分	73,790	74,191	△ 401	△ 0.5%	93,117	96,042	△ 2,925	△ 3.0%	19,327	3,744
道府県分	83,705	84,533	△ 828	△ 1.0%	109,628	118,634	△ 9,006	△ 7.6%	25,923	1,902
計	157,495	158,724	△ 1,229	△ 0.8%	202,745	214,676	△ 11,931	△ 5.6%	45,250	5,646

*表示単位未満四捨五入しているため、項目ごとの数値と合計は一致しない。

<参考>

○県分の状況

- ・普通交付税の算定において、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税は、1,566億円となり、前年度に対して24億円の減となった。前年度との比較においては全国値が7.6%の減に対して、本県は1.5%の減にとどまった。
- ・普通交付税額は1,359億となり、前年度に対して5億円の増となった。対前年度との比較においては全国値1.0%の減に対して、本県は0.4%とプラスの伸び率である。

【県分の増減理由】 ※ただし、臨時財政対策債発行可能額を加えたもので前年度（当初算定）と比較

- ・基準財政需要額の増（36.6億円）まち・ひと・しごと創生事業費（H27創設）関係（人口減少等特別対策事業費の創設、地域の元気創造事業費の増）、公債費（臨時財政対策債等）の増、地域経済・雇用対策費（歳出特別枠）の減等
- ・基準財政収入額の増（59.9億円）法人事業税の増、地方消費税の増、地方法人特別譲与税の増等

○臨時財政対策債

（単位：千円、%）

区 分	臨時財政対策債発行可能額			
	27年度 A	26年度 (当初算定) B	増 減 額 C (=A-B)	増減率 D (=C/B)
鳥取市	3,792,274	3,895,698	△ 103,424	△2.7%
米子市	2,314,477	2,651,180	△ 336,703	△12.7%
倉吉市	905,636	930,072	△ 24,436	△2.6%
境港市	506,683	559,218	△ 52,535	△9.4%
岩美町	218,863	230,596	△ 11,733	△5.1%
若桜町	104,073	103,831	242	0.2%
智頭町	180,262	190,506	△ 10,244	△5.4%
八頭町	355,218	374,788	△ 19,570	△5.2%
三朝町	155,029	162,213	△ 7,184	△4.4%
湯梨浜町	320,986	344,386	△ 23,400	△6.8%
琴浦町	358,610	381,278	△ 22,668	△5.9%
北栄町	291,063	309,509	△ 18,446	△6.0%
日吉津村	122,726	154,784	△ 32,058	△20.7%
大山町	370,731	398,074	△ 27,343	△6.9%
南部町	226,247	238,377	△ 12,130	△5.1%
伯耆町	282,404	291,454	△ 9,050	△3.1%
日南町	169,290	173,191	△ 3,901	△2.3%
日野町	109,290	110,212	△ 922	△0.8%
江府町	121,135	120,318	817	0.7%
都市計	7,519,070	8,036,168	△ 517,098	△6.4%
町村計	3,385,927	3,583,517	△ 197,590	△5.5%
県 計	10,904,997	11,619,685	△ 714,688	△6.2%
県 分	20,698,377	23,595,072	△ 2,896,695	△12.3%

ANA便の冬ダイヤ等について

平成 27 年 8 月 21 日
交 通 政 策 課

次のとおり、県内 2 空港の全日本空輸株式会社鳥取－東京(羽田)便、米子－東京(羽田)便の冬ダイヤ（2015 年 10 月 25 日から 2016 年 3 月 26 日まで）が決定しました。

1 鳥取砂丘コナン空港

(1) 冬ダイヤ

■鳥取→東京(羽田)

便名	出発	到着
292 便	07:05	08:15
294 便	08:35	09:50
296 便	12:00	13:15
1102 便	15:00	16:15
298 便	18:40	19:55

■東京(羽田)→鳥取

便名	出発	到着
293 便	06:40	08:00
295 便	09:55	11:15
1101 便	13:05	14:25
297 便	16:40	18:00
299 便	19:30	20:50

(2) 利用状況（4 月～7 月まで）

- ・搭乗者数 120,336 人（搭乗率 61.3%）
- ※前年同比：搭乗者数 107,809 人（搭乗率 55.2%）

(3) 利用促進の取組

- 航空会社及び旅行会社と連携した各種旅行商品の造成・PR
- 空港-マリンピア賀露-砂丘等を結ぶ周遊バスの試験運行、空港レンタカー利用助成
- 空港連絡バスに愛称化に伴うラッピング装飾を実施
- 外貨両替・二次交通や観光案内業務等を行うスタッフを空港内に配置（8 月 8 日～）
- 二次交通等の案内を行うデジタルサイネージの設置、空港内装飾 2 期整備（本年度整備予定）

2 米子鬼太郎空港

(1) 冬ダイヤ

■米子→東京(羽田)

便名	出発	到着
382 便	07:15	08:30
384 便	09:00	10:15
386 便	12:30	13:45
1088 便	15:25	16:45
388 便	17:00	18:20
390 便	20:50	22:05

■東京(羽田)→米子

便名	出発	到着
381 便	06:55	08:20
383 便	09:55	11:20
1087 便	13:15	14:40
385 便	14:55	16:20
387 便	18:25	19:50
389 便	20:05	21:30

※米子鬼太郎空港の 6 便化は 10 月 1 日から復活後、引き続き冬ダイヤ期間継続されます。

(2) 利用状況（4 月～7 月まで）

- ・搭乗者数 171,791 人（搭乗率 72.0%）
- ※前年同比：搭乗者数 145,979 人（搭乗率 56.7%）

(3) 利用促進の取組（整備中のものを含む）

- 航空会社及び旅行会社と連携した各種旅行商品の造成・PR
- サイクリストに向けたサイクルステーションや更衣室等を整備（一部整備中）
- 二次交通情報や観光案内等を行うデジタルサイネージの設置（整備中）
- 空港内鬼太郎装飾のリニューアル（本年度整備予定）

3 スカイマークについて

8 月末をもって米子－神戸・那覇便の運休が決まっているが、経営基盤確立後の再就航検討が表明されており、1 日も早いスカイマーク社再建の進展を期待するとともに、引き続きスカイマーク社との関係を保ちながら、将来の路線復活に向け取り組んでいく。

ジャマイカ陸上チームの世界陸上北京大会鳥取キャンプの結果について

平成27年8月21日
スポーツ課

1 鳥取キャンプ概要

- (1) 期日 8月8日(土)から18日(火)までの11日間
うち練習は、9日(日)午後から17日(月)まで
- (2) 場所 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場(鳥取市布勢)
- (3) 来県人数 選手49人、コーチ等18人 計67人 他にパーソナルコーチ12人
【主な有名選手】括弧内は過去の五輪成績
アサファ・パウエル(北京金)、ベロニカ・キャンベルブラウン(アテネ金)、
シェリーアン・フレイザープライス(北京、ロンドン金)、シャローン・シンプソン(アテネ金)、ウオーレン・ウィア(ロンドン銅)
- (4) 選手の様子
 - ・ジャマイカの各選手は、落ち着いた空間で、リラックスして練習に取り組んだ。
 - ・パウエル選手をはじめ、選手たちはサービス精神にあふれ、積極的に県民と交流を行った。

2 期間中行事

- (1) 知事・鳥取市長面談
 - ・日時 8月9日(日)午後7時15分～30分
 - ・場所 ホテルモナーク鳥取
 - ・内容 チームマネージャー(ワッツ)、有名選手(パウエル、シンプソン)他との面談
- (2) 歓迎レセプション
 - ・日時 8月9日(日)午後7時45分～9時30分
 - ・場所 ホテルモナーク鳥取
 - ・内容 鳥取の食と芸能でおもてなし(選手・コーチ等40人、関係者30人)
- (3) 練習公開・サイン会
 - ・日時 8月11日(火)、15日(土)
【午前の部】午前6時～10時、【午後の部】午後3時～6時

公開日	来場者数(人)			選手・コーチ数(人)	
	午前	午後	計	午前	午後
8月11日(火)	2,400	1,800	4,200	46	23
8月15日(土)	5,600	2,700	8,300	35	33
合計	8,000	4,500	12,500	81	56

 - ・場所 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場
 - ・サイン会
 - 11日(火) 整理券250枚配布。ジャマイカ陸連の好意で追加実施(100人)。
 - 15日(土) 整理券400枚配布。ジャマイカ陸連の好意で追加実施(150人)。
- (4) 保育園訪問
 - ・日時 8月12日(水) 午前11時30分～午後1時
 - ・場所 河原あゆっこ園
 - ・内容 園児との交流行事(選手6人※キャンベルを含む、参加者40人)
- (5) 障がい者施設訪問
 - ・日時 8月12日(水) 午前11時30分～午後0時30分

- ・場所 地域支援総合センター（しらはま交流センター）
- ・内容 障がい福祉事業所（あさひ園等）利用者との交流行事（選手6人、参加者100人）

(6) リカード・アリコック駐日ジャマイカ大使来県

- ・日時・内容
8月14日（金）午前9時45分～ 選手団激励（陸上競技場内トレーニングルーム）
午前10時45分～ すなば珈琲視察
午後6時15分～ しゃんしゃん祭イベント出演、鳥取珈琲文化振興会名誉顧問委嘱

(7) 中高生・指導者向け陸上教室

- ・日時 8月16日（日）午前11時～正午
- ・場所 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場
- ・内容 中高生と指導者向けの陸上教室 ※それぞれ実施
（参加者）中高生74人、ジャマイカ陸上チームコーチ6人
指導者28人、ジャマイカ陸上チームコーチ4人

(8) プレ壮行会 in 砂丘

- ・日時 8月16日（日）午後4時15分～45分
- ・場所 鳥取砂丘
- ・内容 選手の手型・足型とり、写真撮影等
（参加選手12人、見学した選手・コーチ等35人）

(9) 県民大壮行会

- ・日時 8月16日（日）午後7時～7時55分
- ・場所 鳥取市民会館
- ・内容 応援演武（宇佐美里香選手）、ジャマイカ国歌演奏（岩美高校吹奏楽部）、保育園児手作りメダル贈呈（河原あゆっこ園）、全員で選手団にエール、記念写真）
（参加者）選手・コーチ等50人※パウエル、キャンベル含む。来場者200人

(10) 公式記者会見

- ・日時 8月16日（日）午後8時～8時45分
- ・場所 鳥取市民会館
- ・内容 チームマネージャー、選手代表からの鳥取キャンプ感想コメント、質疑応答
- ・参加者 チームマネージャー（ワッツ）、有名選手（パウエル、キャンベル、フレイザー・プライス、リチャーズ）、他コーチ・役員 計8名
- ・主なコメント
【ワッツ】今まで経験した合宿で一番良かった。ボルト自身も楽しみにしていたので残念。2020東京五輪キャンプははっきり答えられないが選択肢の一つ。北京では、ジャマイカと鳥取のためにメダルを取る。
【パウエル】トレーニングも非常にうまくいった。親切にしてもらい、鳥取の皆さんに感謝している。選手全員が勝ちたいという気持ちだ。
【キャンベル】公開練習での観客の態度は素晴らしい。トレーニングに集中できた。鳥取の皆さんと交流できたのは良かった。

3 今後の展開

今回のキャンプ受入れをきっかけに、ジャマイカと鳥取の陸上を通じた交流について協議を始めるとともに、2020年東京五輪のジャマイカチーム事前キャンプ誘致の実現に向けて、受入環境の整備に努める。